

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市子育てふれあいプラザ若林
2	指定管理者	せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ
3	指定期間	平成29年10月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 29,009人（前年度比91.7%）          内訳 ひろば利用者 27,828人 託児利用者 1,181人          ※視察等の利用者 441人          平成29年度 17,467人 平成30年度 31,643人</p> <p>《事業》          子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 23,474千円 (23,411千円) ( )は前年度決算額</p> <p>・ その他市が負担した費用 0千円 ( 0千円)</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 2,814千円 ( 2,594千円)</p> <p>・ その他収入 146千円 ( 165千円)</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意見箱の設置</li> <li>・ イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施</li> </ul>

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	協定書に示す関係法令及び条例等を遵守し、また、条例に規定する施設の設置目的を職員が理解し施設の運営を行っている。 利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心してできるまちの実現に大きく貢献している。	21/21
II 施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取組がなされている。	29/29
III 施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破損していないか、利用者が快適に利用できるかなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。	18/18
IV サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。 職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供(ひろば事業)や子育てに係る情報収集、一時預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。	9/9

### 三 評価総括

《指定管理者（せんだいファミリーサポートネットワーク・冒険あそび場せんだいみやぎネットワークグループ）による自己評価》
<p>職員一人ひとりが、日常的な会話などを通した利用者との関わりを大事にし、丁寧な対応を心がけた。身近な話し相手として寄り添い、居心地の良い雰囲気づくりに努め、継続的な来館や利用者同士のつながりを意識して関わった。</p> <p>一時預かりでは、保護者からの聞き取りを丁寧に行い、個別の対応にあたった。職員間で情報共有を行い、必要に応じて職員の配置を増やすなどの安全な預かりを行った。ひろば同様安心・居心地のよい安全な場づくりを行い、子どもの年齢に合わせた遊びやおもちゃを提供した。職員はスキルアップに努め、親と子双方を見守ることを心がけた。</p> <p>個人情報および情報セキュリティについては、担当職員が外部研修を受け、その後職員全体での研修を行い、取り扱い等の徹底を図った。日頃から利用者の声に耳を傾け、施設運営に反映させた。「ばぶちゃんタイム」は、参加者も多く、回数を増やしてほしいとの要望もあったため、年度途中ではあったが隔月開催を毎月に変更、柔軟な対応を行った。</p> <p>外遊びで使用しているふるさとひろばは、イベント前には必ず安全確認を行い、親子が安全に遊べるよう配慮した。お外遊びのリーフレットを利用し、子どもにとっての外遊びの大切さを伝える工夫をした。また、長時間開催している「のびすくプレーパーク」の際にはプレーリーダーを2名配置し、安心・安全な遊び場を提供した。</p> <p>七機関連絡会の定例会議や防災訓練に参加することで、地域連携や災害時に対応できる関係づくりができた。また、災害時や事故に備え、職員の防災訓練や救命救急講座もを行い、有事に備えた。</p> <p>専任の清掃職員を配置、日々のこまめな清掃・整備、おもちゃ等の消毒などを行い清潔で安全な場所の提供を行った。おもちゃの消毒や床のモップ掛けについては、開館時間内でも適時行うなど衛生面に気を配った。</p> <p>今後も、安心・安全な場所の提供のために職員研修やマニュアルの整備等を進めていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、開館3年目を迎え、父親と子ども、また、祖父母と子どもの来館が増加傾向にあり、地域における安心して過ごせるあそび場としての認知度が上がってきている。また、施設内に併設する南小泉児童館や地域の子育て支援団体と連携してイベントを実施するなど、他団体との協働による地域の乳幼児親子の支援体制もより強固になっている。</p> <p>一時預かり事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年3月は通常の受け入れができなかったが、前年度と比べて利用者数が増えていることから、安心安全に預かりを行う場としてのびすく若林が定着してきたとともに、多くの子育て家庭の負担を軽減することができた。</p> <p>相談事業についても、ひろば職員と、本市の委託事業である子育て支援専門相談事業の相談員が連携し情報共有を行うことで、職場全体での継続的な見守りや支援につなげるなど、子育て家庭の不安や負担の軽減に大きく貢献している。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課